

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立総社高等学校		
実践者等		水子竣介	実践日	令和4年5月30日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		数学Ⅱ・三角関数		
対象生徒(学年等)		普通科文系2年		
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化		
		☐ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用		
		☐ 表現を充実させる活用 ☒ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化		
		☐ その他(自宅待機中の生徒へのリモート授業の対応)		
家庭学習		☒ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☒ 補習・定着		
実践の内容				
(1) 既習事項の確認 ・ <u>考え方、図形的意味を、ブラウザ版「GeoGebra」を用いて復習させる。</u> ・ <u>生徒にパラメーターを自分の手で動かし、図形が変化する様子を視覚的に確認させる。</u> (2) 確認テスト ・ GeoGebra で確認した内容の確認テストを実施する。 ・ <u>3種類の異なる難易度のテストを Forms で配信し、簡単なものから取り組ませる。自分の理解度に合わせて次の難易度のテストに取り組ませる。</u> ・ 一定時間経過後、ペアで解けなかった問題の確認をさせる。<u>必要に応じて復習で用いたGeoGebraを利用して良いと指示する。</u> ・ 以降、テストと確認の時間を交互に設ける。 (3) 家庭学習の指示 ・ <u>3種類の確認テストを次の授業までに満点を取るように指示する。GeoGebraを用いて確認し何度も挑戦して良いことを伝える。</u> (4) 振り返り ・ 本時の確認をする。				
【本時と家庭学習との連動】 (授業後) ・ <u>満点が取れるまで確認テストに取り組む。</u> (右図は確認テストの点数のヒストグラム) ・ <u>確認テストで間違えた問題はヒントを見ることができるように設定しておく。</u> ・ <u>GeoGebraを用いて図形的性質を確認する。</u>				

